

鹿児島県立図書館アンケート（令和6年1月）主な集計結果

■回答者数

【県立】 345人（県立図書館での回答者）

【市町村】 568人（市町村立図書館での回答者）

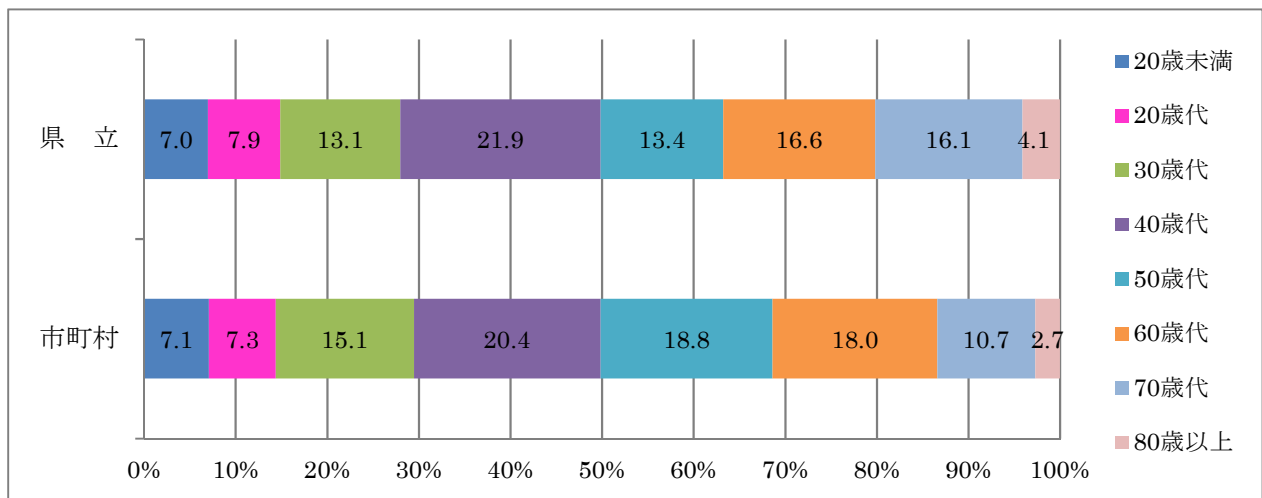
1 県立図書館の利用について

(1) 回答者の年齢層

※1 端数処理のため、合計が100%にならない場合があります。

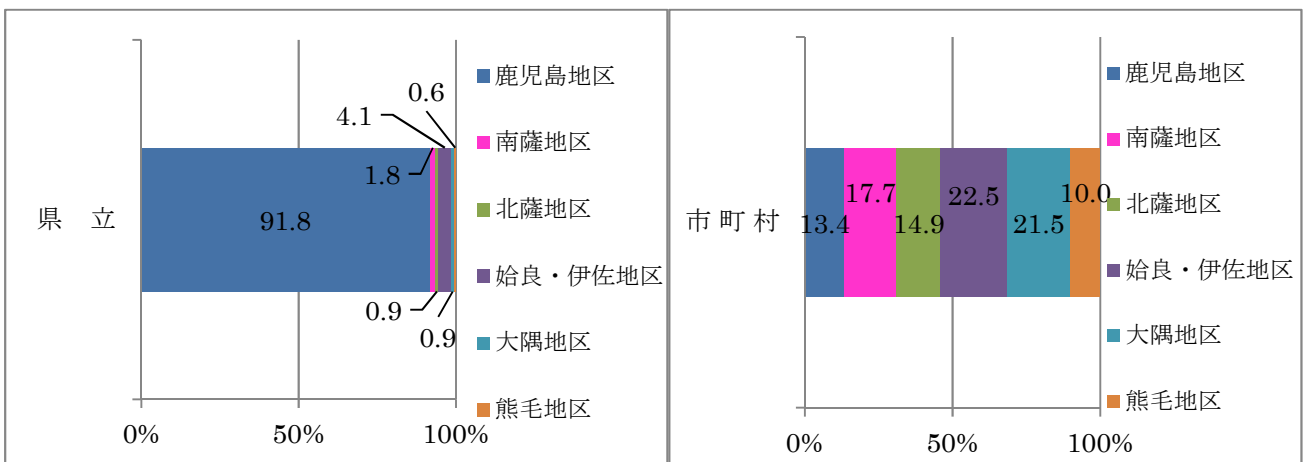
※2 単位：%

※1, ※2ともに以下同様



☛ 回答者の年齢層は、「市町村」に比べ「県立」が、やや高い。

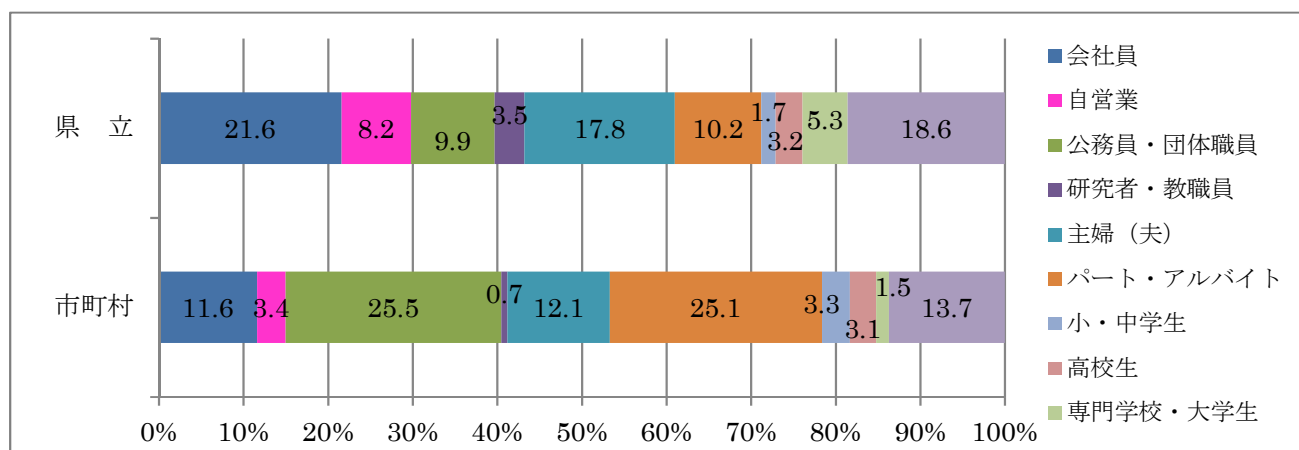
(2) 回答者の住所



☛ 「県立図書館」の利用者のうち91.8%が、鹿児島地区からの来館である。

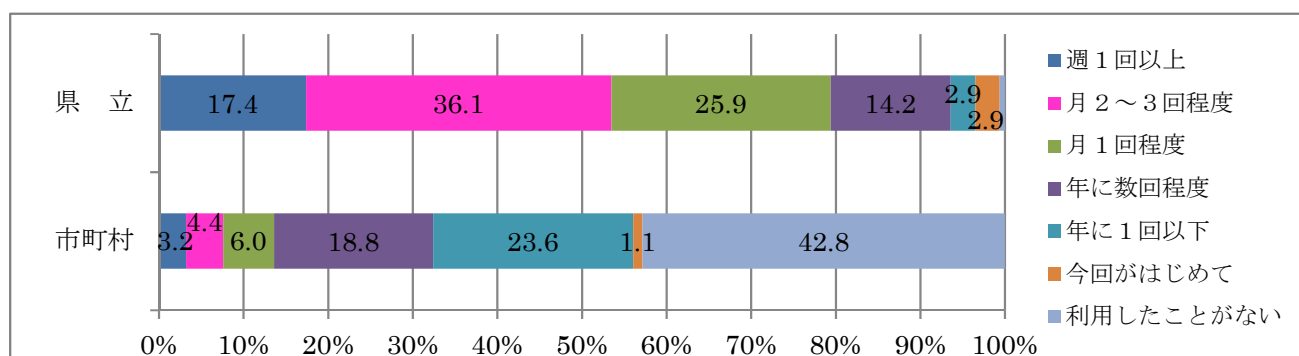
「市町村立図書館」の利用者は、始良・伊佐地区（22.5%）、大隅地区（21.5%）の居住者が多い。

(3) 回答者の職業等



- ☛ 「県立 (53.4%)」, 「市町村 (66.3%)」 と就労者の利用率が高い。
- ☛ 就労者の図書館利用目的は、県立・市町村ともに「趣味・娯楽」, 「本の閲覧」の割合が高い。

(4) 県立図書館の利用頻度

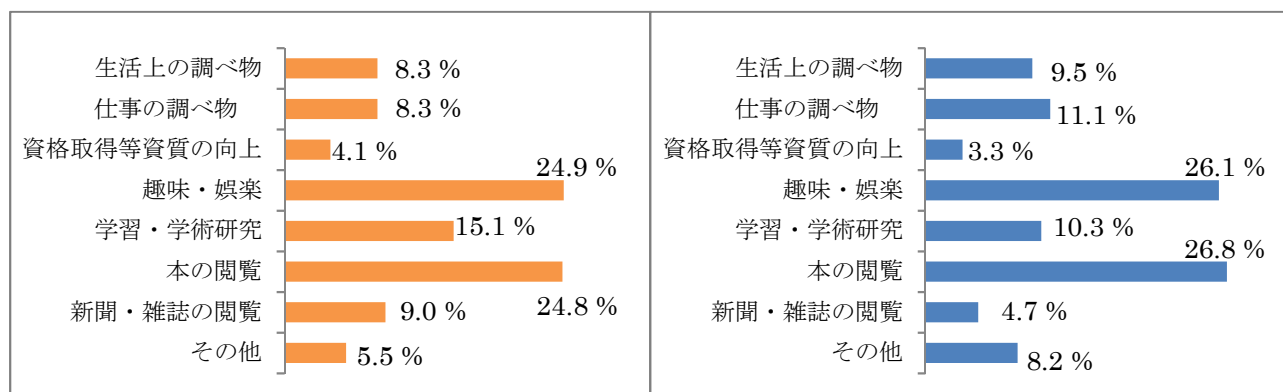


- ☛ 月に1回以上利用される方は、「県立」で79.4%, 「市町村」で13.6%となっている。
- ☛ 「市町村」のうち「利用したことがない」は、昨年度より6.6%減少した。

(5) 県立図書館の利用目的 (※複数回答可)

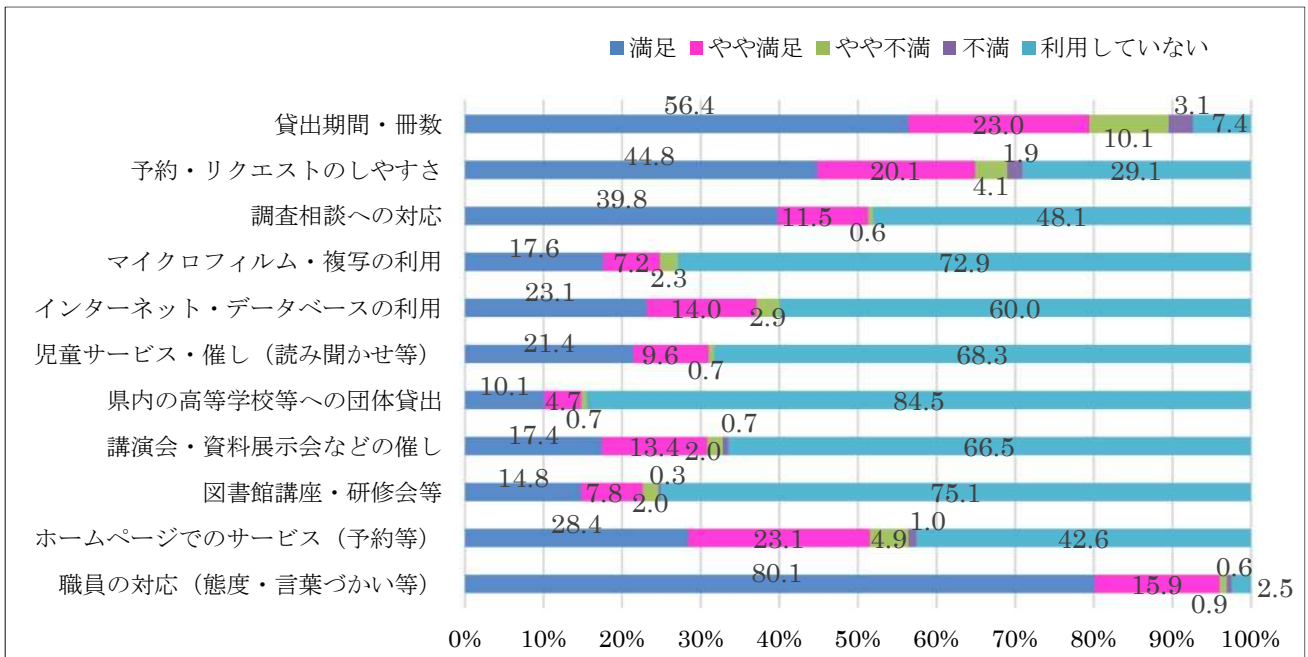
【県立】

【市町村】

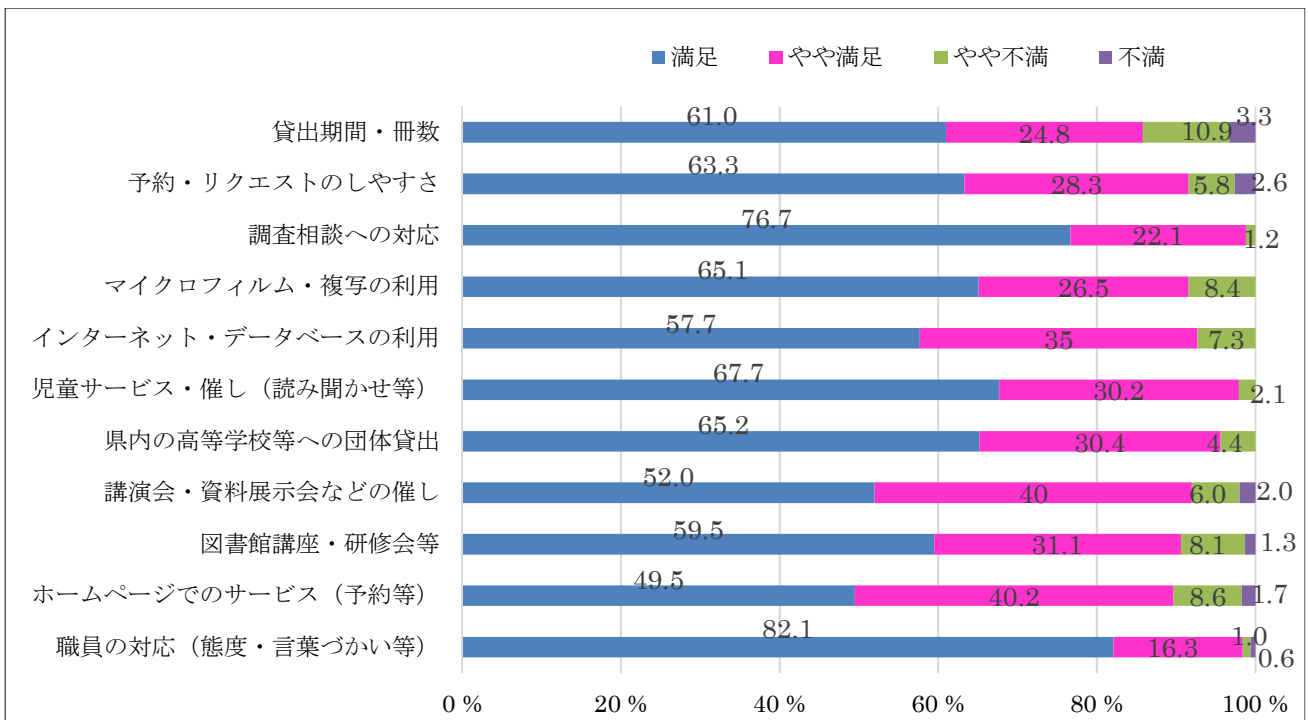


- ☛ 割合が高いのは「趣味・娯楽」と「本の閲覧」であり、「県立」で24%台, 「市町村」で26%台となっている。

2 県立図書館のサービスについて 【県立】



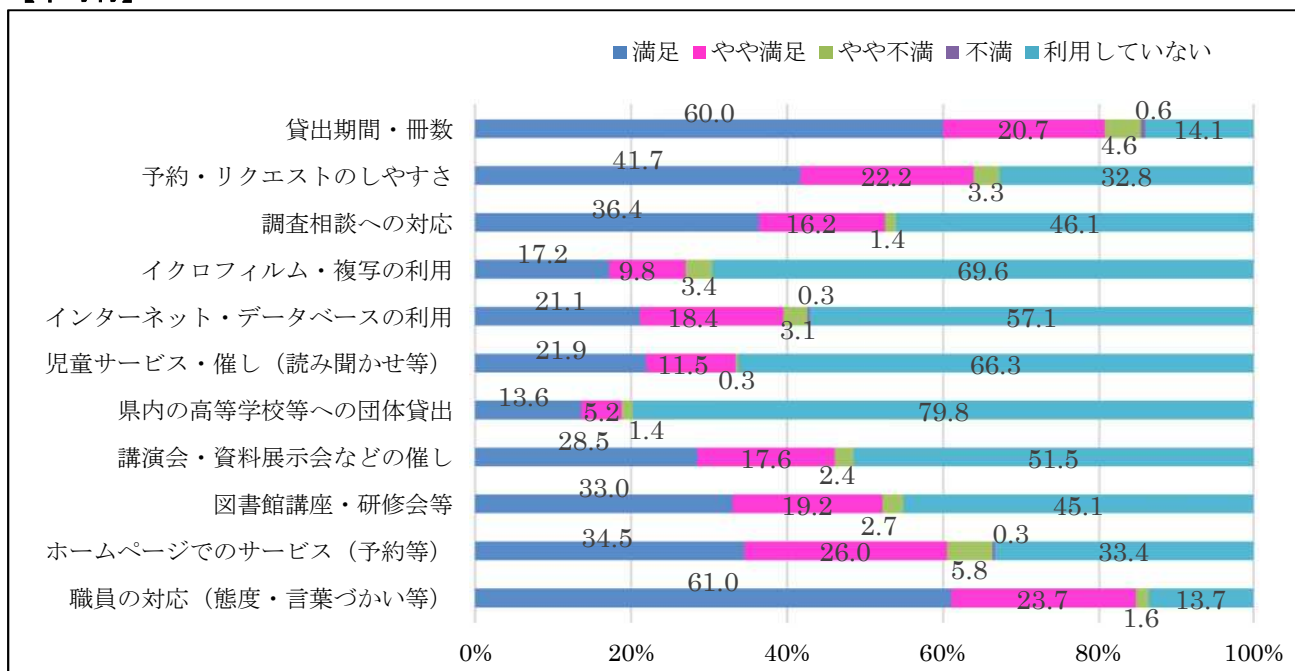
【県立：上記のうち「利用していない」を除く】



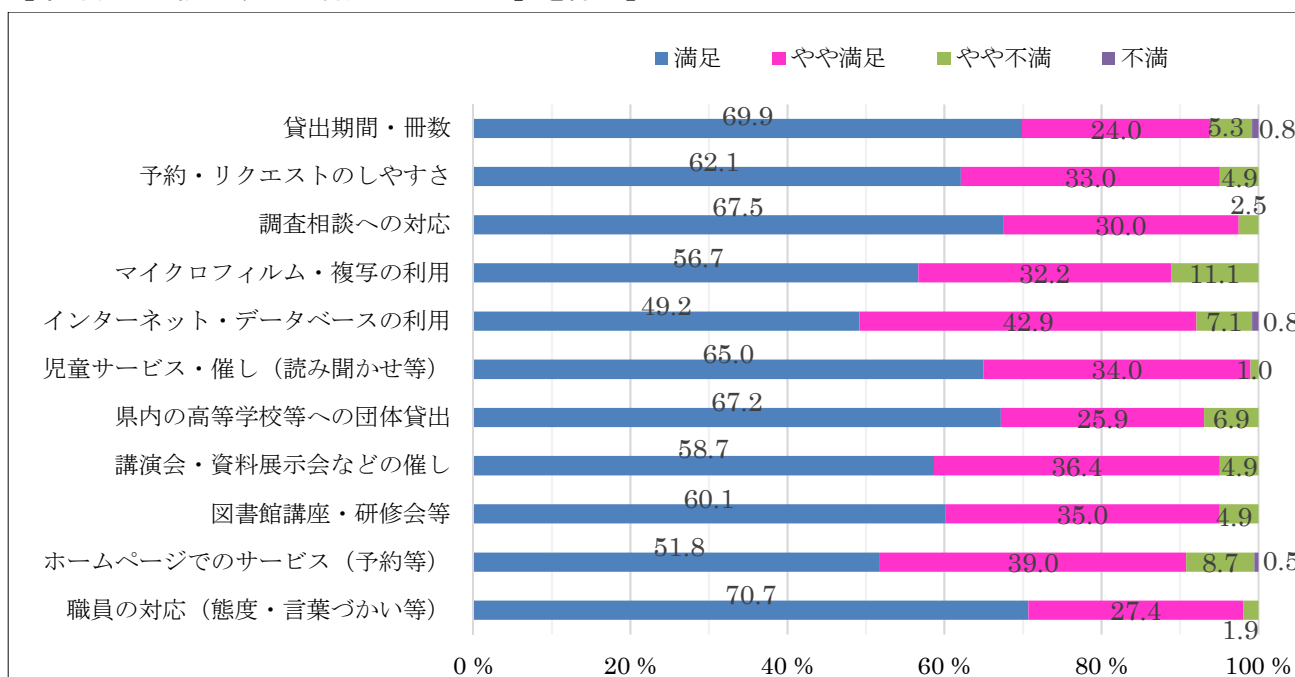
☛ 「利用していない」を除いた満足度では、「貸出期間・冊数」，「ホームページでのサービス」を除いた項目で90%を超えており，図書館サービスに概ね満足していることがうかがえる。特に「調査相談への対応」は，98.8%の方が満足している。

☛ 「やや不満」，「不満」と回答した方からの具体的な要望事項に「返却ポストの増設（3件）」，「貸出冊数の増冊（4件）」があり，「貸出期間・冊数」の満足度が伸び悩んだ要因のひとつと考えられる。

【市町村】



【市町村：上記のうち「利用していない」を除く】



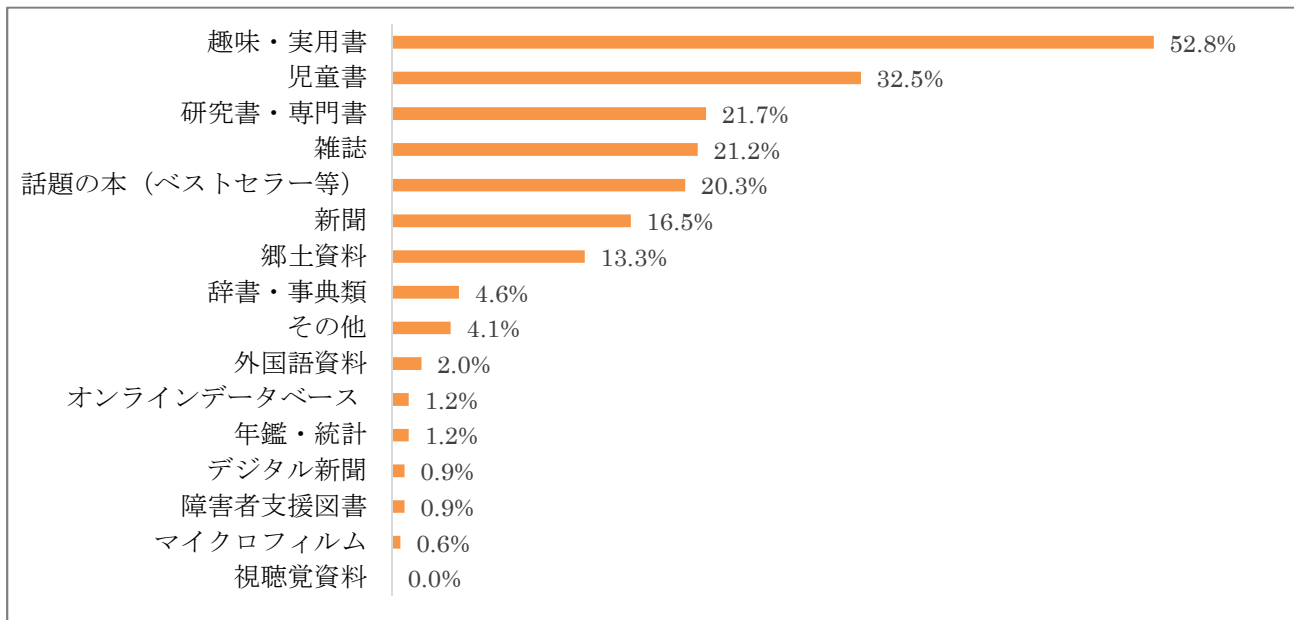
☛ 「利用していない」を除いた満足度では、「マイクロフィルム・複写の利用」を除いた項目で90%を超えており、図書館サービスに概ね満足していることがうかがえる。特に「児童サービス・催し（読み聞かせ等）」は、99.0%の方が満足している。

☛ 「マイクロフィルム・複写の利用」については、分かりやすい操作方法の案内や操作支援に取り組んでいるが、専用機器の操作方法が難しいと感じる利用者もいることがうかがえる。

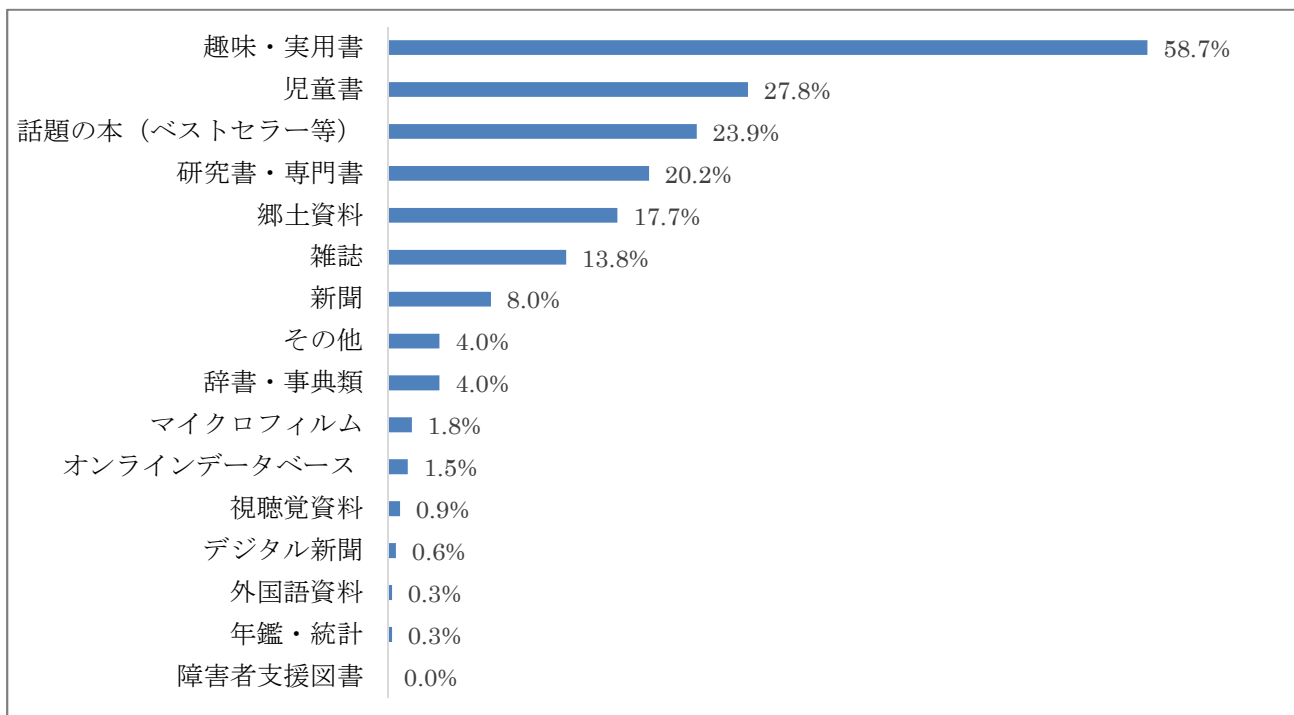
3 県立図書館の蔵書資料について

(1) よく利用される資料はどれですか。 (※複数回答可)

【県立】



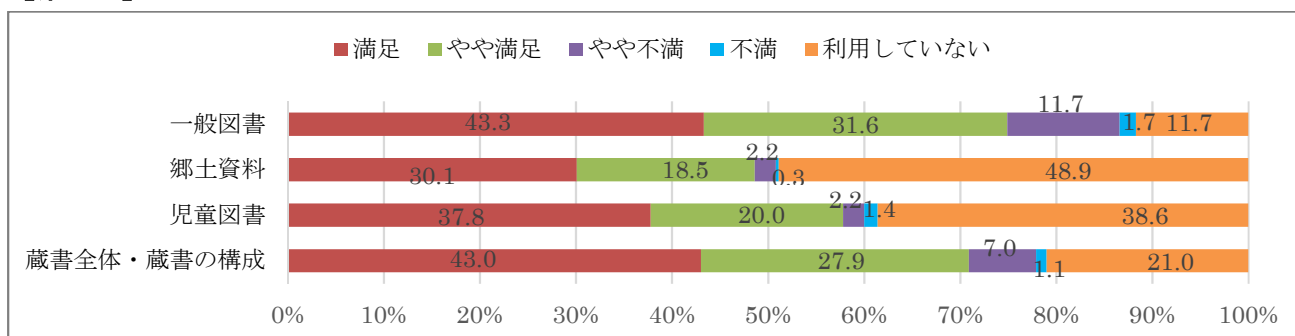
【市町村】



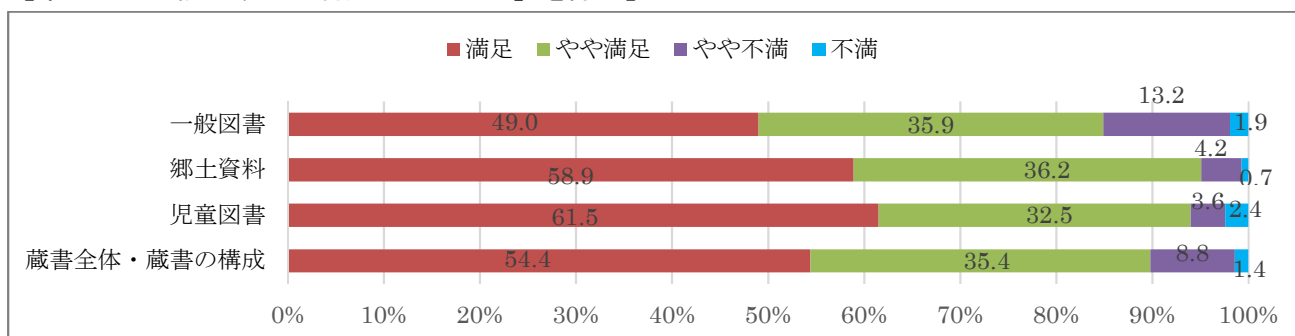
- 「県立・市町村」とともに「趣味・実用書」が最も多く、次いで「児童書」となっている。
- そのほかの特徴として、「県立」では、学術研究や調査相談に役立つ「研究書・専門書」が、「市町村」では、「話題の本 (ベストセラー)」の利用頻度が高い。

(2) 図書館の資料についての満足度をお聞かせください。

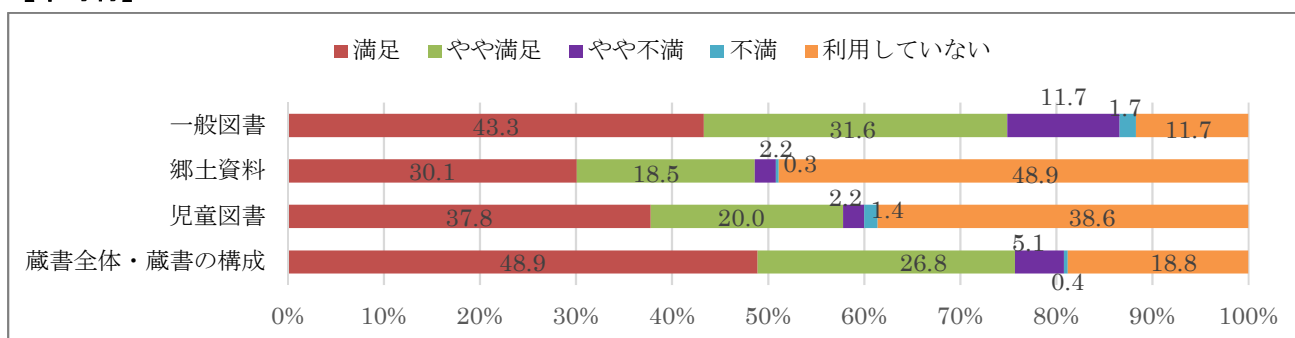
【県立】



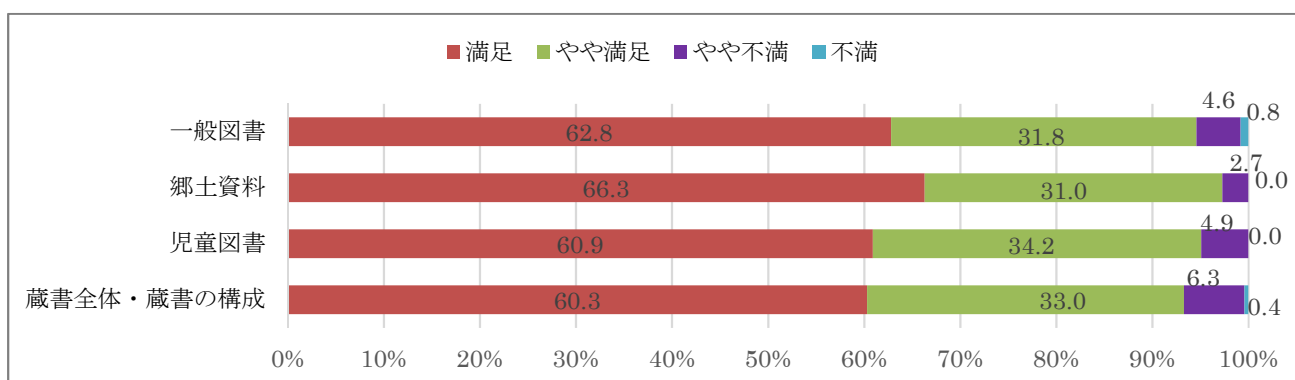
【県立：上記のうち「利用していない」を除く】



【市町村】



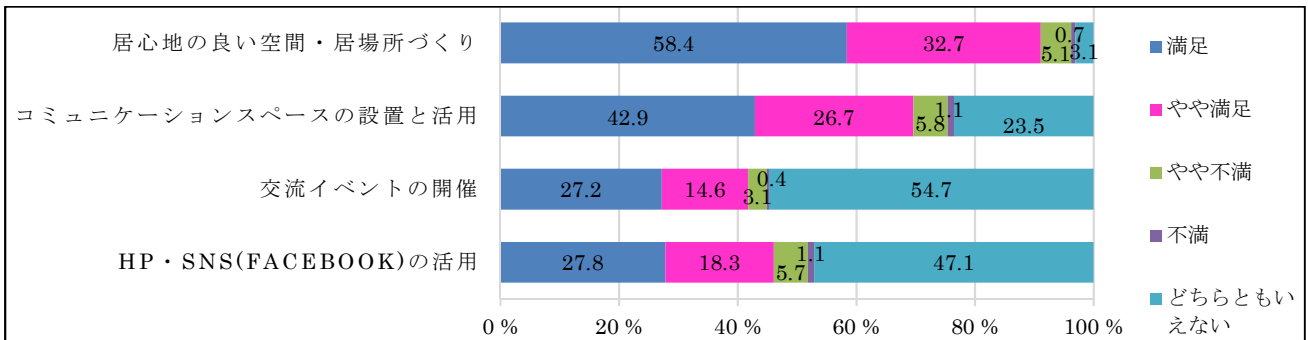
【市町村：上記のうち「利用していない」を除く】



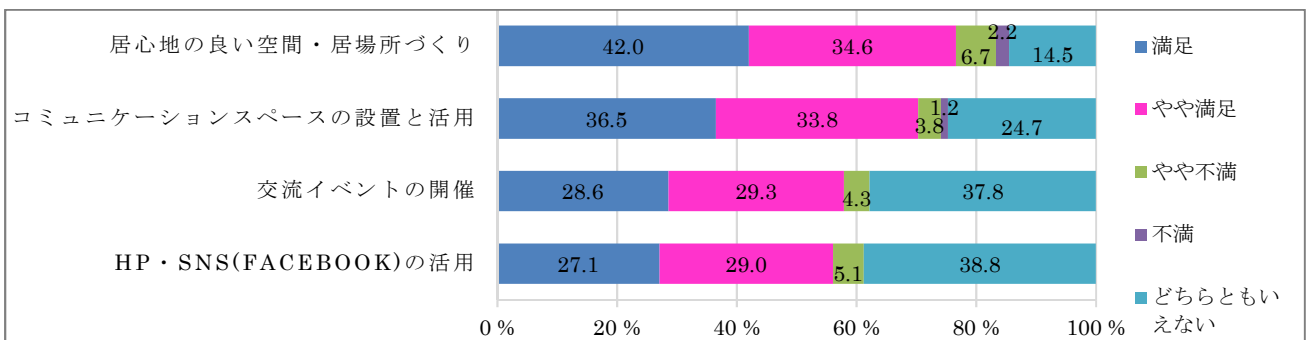
- 「県立」では8割以上、「市町村」では9割以上が「満足・やや満足」と回答しており、全体の満足度は高い。
- 「県立・市町村」とともに「郷土資料」の満足度が高い。

4 居場所・交流の場・学びを生かす場としての県立図書館について

【県立】



【市町村】

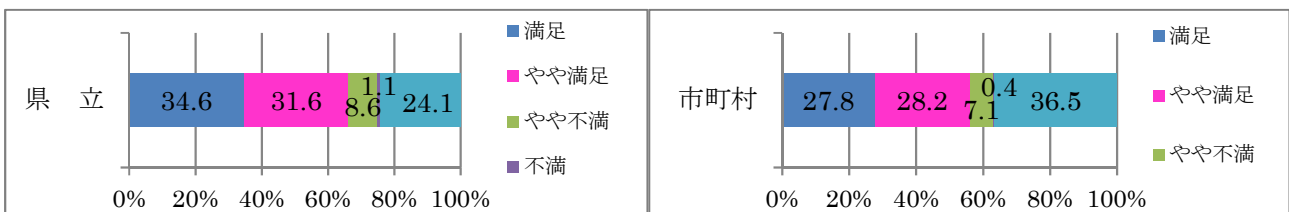


☛「居心地の良い空間・居場所づくり」は、「県立」が91.1%、「市町村」が76.6%の平均83.9%の利用者が「満足・やや満足」と回答している。（詳細は、図書館評価「参考指標」の実績・考察 [通番10](#)を参照）

☛「コミュニケーションスペースの設置と活用」は、「県立・市町村」ともに「満足・やや満足」の回答が昨年度より下回り、平均70.0%（昨年度74.9%）の満足度である。

☛「交流イベントの開催」は、「県立」が41.8%、「市町村」が57.9%の平均49.9%と昨年度の平均（54.0%）を下回った。また、「HP・SNSの活用」も「県立」が46.1%、「市町村」が56.1%の平均51.1%と昨年度の平均（54.1%）を下回っており、効果的な広報活動に努める必要がある。

5 ユニバーサルデザインの視点からの県立図書館について

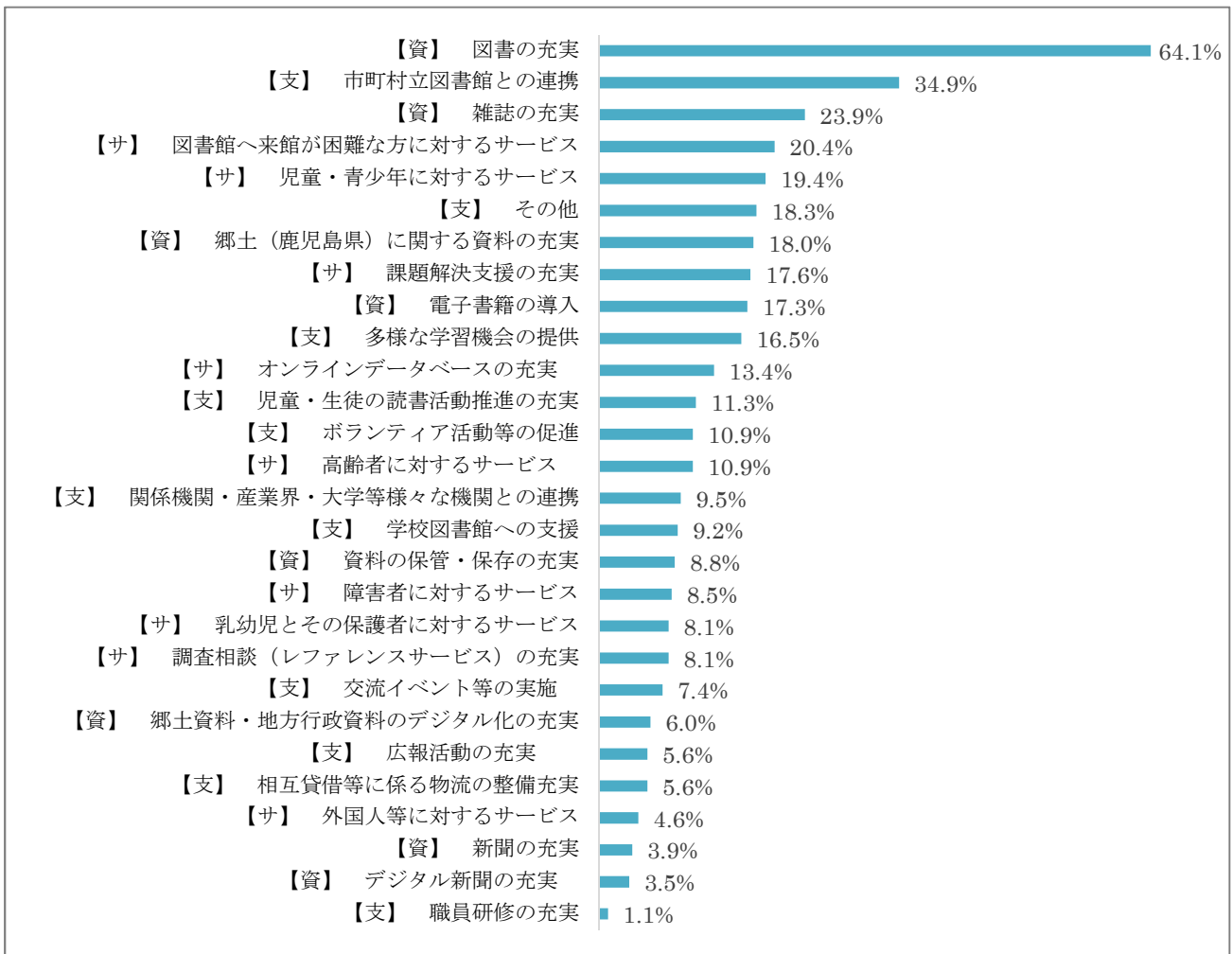


☛「県立・市町村」ともに「満足・やや満足」の回答が50%を超え、両者の平均は、昨年度より4.5%増の61.1%であった。今後充実して欲しいユニバーサルデザインとして、「照明の明るさの改善」、「子ども用トイレの整備」、「大活字本や音声図書の充実」を要望する意見があった。

（詳細は、図書館評価「参考指標」の実績・考察 [通番6](#)を参照）

6 今後、県立図書館に充実してほしいサービスについて (※複数回答可)

【県立】



サービス内容別

<図書館資料>

- 1：図書の充実 2：雑誌の充実 3：郷土（鹿児島県）に関する資料の充実

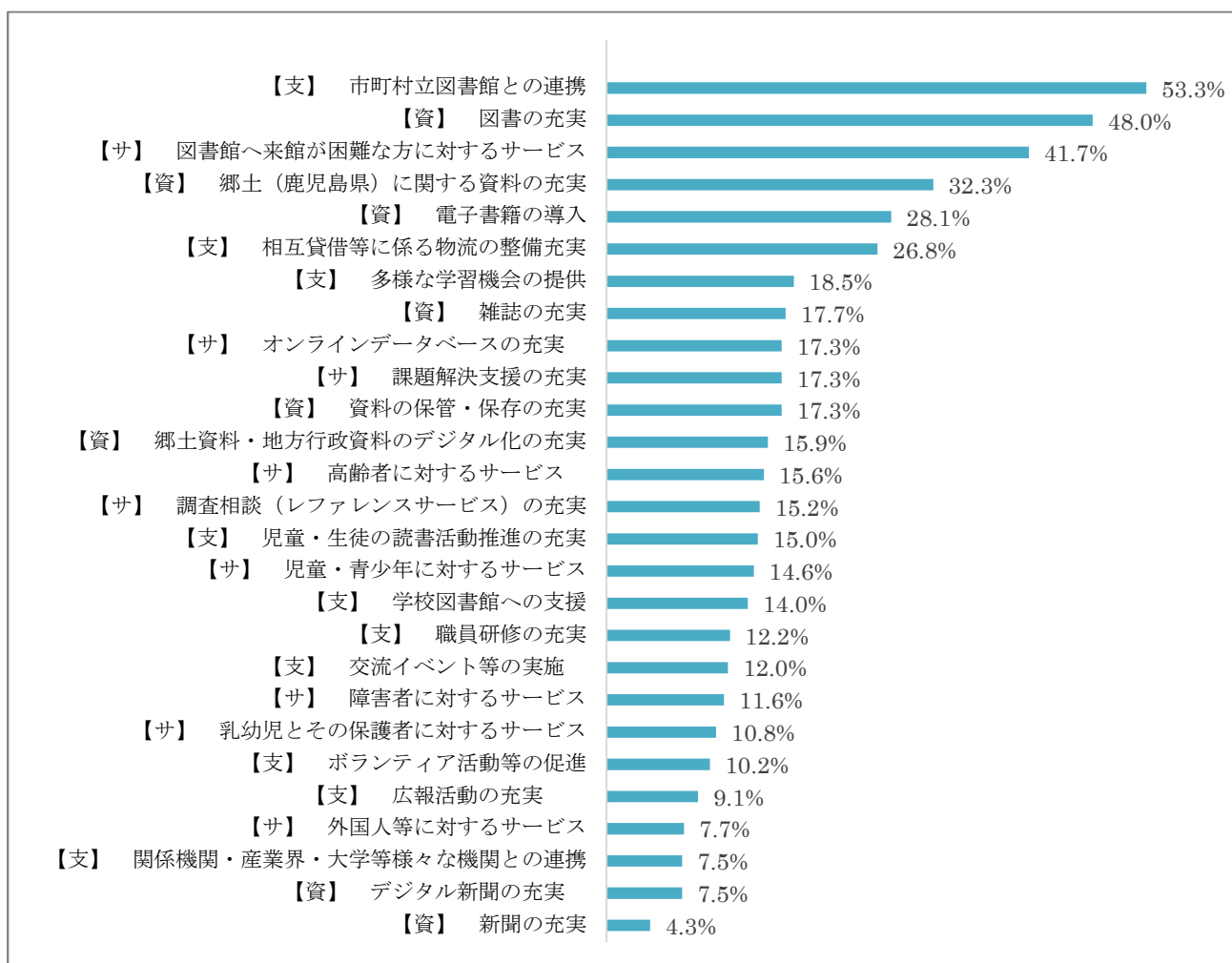
<図書館サービス>

- 1：図書館へ来館が困難な方に対するサービス
2：児童・青少年に対するサービス
3：課題解決支援の充実

<支援・連携・施設設備、講座等>

- 1：市町村立図書館との連携
2：多様な学習機会の提供
3：児童・生徒の読書活動推進の充実

【市町村】



サービス内容別

<図書館資料>

- 1：図書の充実 2：郷土（鹿児島県）に関する資料の充実 3：電子書籍の導入

<図書館サービス>

- 1：図書館へ来館が困難な方に対するサービス
2：オンラインデータベースの充実
3：課題解決支援の充実

<支援・連携・施設設備、講座等>

- 1：市町村立図書館との連携
2：相互貸借等に係る物流の整備充実
3：多様な学習機会の提供

- ☛ <図書館資料>は、「県立・市町村」ともに「図書の充実」、「郷土（鹿児島県）に関する資料の充実」が上位に入っている。また、「県立・市町村」ともに上位3位内の項目は昨年度と同じである。

● <図書館サービス>は、「県立・市町村」ともに「図書館へ来館が困難な方に対するサービス」、「課題解決支援の充実」が上位に入っている。また、「県立」は、新たに「児童・青少年に対するサービス」が上位に入った。

● <支援・連携・施設設備、講座等>は、「県立・市町村」ともに昨年度と同様の結果であり、両者とも、上位3位までに、「市町村立図書館との連携」、「多様な学習機会の提供」が入っている。

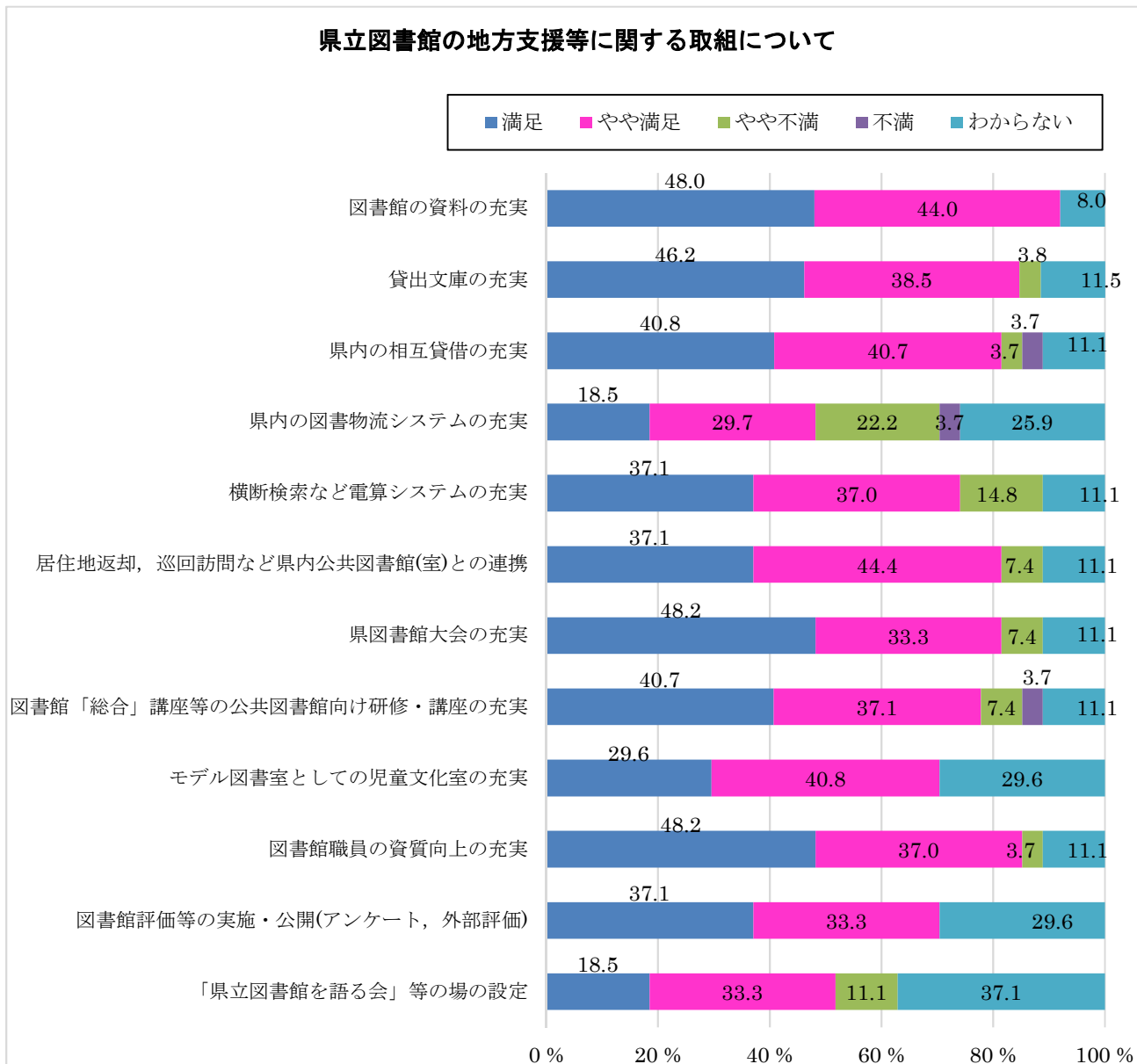
【サービス全体】

● 今後も、郷土資料を含む図書資料の充実を図るとともに、相互貸借等を通じた市町村立図書館との連携を深め、来館が困難な方に対するサービスの充実に努めていきたい。なお、電子書籍の導入を含め上位以外のサービスについても、利用者のニーズを注視しながら、引き続き検討を重ねていく。

市町村立図書館（室）アンケート

■回答者数

30 館（室）



●全体的に昨年度の満足度から微減となったが、「モデル図書室としての児童文化室の充実」、「図書館職員の資質向上の充実」、「図書館評価等の実施・公開」、「県立図書館を語る会等の場の設定」の項目は、1.4～9.4%満足度が上昇した。

●「県内の図書物流システムの充実」は、昨年度から17.3%減少しており、今後の課題である。

●「県立図書館を語る会等の場の設定」は、昨年度よりも「わからない」の回答が減少してはいるが、引き続き、目的や内容を明確にし、広報・周知する必要がある。